

ダイバーシティ(人材多様性)の推進

当社が目指しているグローバル化、新市場の開拓には、従来の延長線にない新たな視点や発想が不可欠であり、その源泉となるのが異なる価値観や経験を有する多様な人材に他なりません。当社グループにおけるダイバーシティは海外現地法人から進んできましたが、さらなる経営体質の強化と市場競争力の獲得のために、グローバル本社である安川電機、そして国内グループ各社におけるダイバーシティの推進に取り組むことを宣言しました。

2014年9月に社長を室長とする人材多様性推進室を立ち上げ、ダイバーシティ推進施策を展開しています。

人材の多様性といっても、人種・国籍、年齢、性別、経歴など、ダイバーシティの属性はさまざまですが、当社は、最大のマイノリティである女性の活躍推進を最優先課題に掲げ、経営トップの強力なコミットメントの下、各種施策に取り組んでいます。

働き方改革によるワーク・ライフ・バランスの推進はダイバーシティ推進の要であると同時に、企業発展のための車の両輪と

位置付けています。柔軟で多様な働き方や人事制度の在り方を検討するとともに、従業員一人ひとりの労働生産性を高めながら、個々のライフスタイルや育児・介護といったライフイベントと仕事を無理なく両立しつつ、キャリアアップが図れる企業を目指して、社内風土改革に取り組みます。

全女性従業員対象の講習会



● お問い合わせ先：人材多様性推進室 TEL 093-588-3077



選手詳細情報は陸上部ホームページ「草魂」で公開中！ <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

冬のロードシーズンを終え、春のトラックシーズンは、当社陸上部は新人選手3名、新外国人選手2名を加えてのスタートとなりました。

5000m、10000mを中心に各地区の記録会に出場し、現状の走力を確認しました。

大きく目を見張るのが、新外国人選手のマミヨ・ヌグセ選手とフィカドゥ・ハフツ選手です。日本で初レースとなるナイター長距離記録会の5000m最終組で、スタート直後から4名の外国人選手で飛び出し、レースを進めました。2000m地点くらいまでは日本記録を上回るペースでレースが進み、3000m付近では既にマミヨ選手の独走となりました。一人でレースを進めたためペースダウンしてしまいましたが、13分28秒50の1位で日本デビュー戦を飾ることができました。フィカドゥ選手も粘り日本人選手を大きく引き離して4位でのフィニッシュでした。

更には、高校を卒業したばかりの新人古賀淳紫選手が二番目に速い8組を走り、最初から積極的に集団に入って走り、最後まで粘りぬきました。結果は17位と平凡だったのですが、その積極的なレース運びは、今後に期待させるものがありました。

このナイター長距離記録会には、選手14名中11名が出場し、久しぶりに多くの選手のユニフォーム姿を見ることができました。

今年度は、昨年以上に多くの選手が大会に出場できるように頑張ります。ご声援宜しくお願いします。



ナイター長距離記録会で日本デビューを果たしたマミヨ・ヌグセ選手(右)とフィカドゥ・ハフツ選手(左)

◆ 2015年4月～6月の主な戦績

日程	大会名	成績
4月12日	西日本記録会 5000m	久保田大貴選手1位、黒木文太選手2位、野本大喜選手3位、松山雄太郎選手5位
4月29日	春季延岡記録会 5000m	4組：松山雄太郎選手26位 5組：野本大喜選手15位、平山竜成選手30位
5月3日	長崎ナイター陸上 10000m	久保田大貴選手15位、野本大喜選手20位、平山竜成選手23位
5月16日 ～17日	九州実業団陸上競技選手権大会	男子Jr1500m：古賀淳紫選手(新人)6位 男子10000m2組：黒木文太選手16位、平山竜成選手19位、野本大喜選手20位 男子10000m3組：久保田大貴選手19位 男子Jr5000m：古賀淳紫選手4位 男子5000m2組：野本大喜選手5位
6月6日	ナイター長距離記録会 5000m	6組坂本亮選手8位(自己新記録) 7組平田武司選手4位(自己新記録) 8組久保田大貴選手3位、中本健太郎選手9位、野本大喜選手10位、平山竜成選手16位、古賀淳紫選手17位 9組マミヨ・ヌグセ選手1位(自己新記録)、フィカドゥ・ハフツ選手4位、北島寿典選手7位、黒木文太選手19位